

# 第41回全国中学校スケート大会 スピードスケート会場（エムウェーブ） 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

概要版

## 基本となる予防策

**感染源を断つ**…すべての関係者について、健康状態を確認、検温を実施。

**基本的予防策の徹底**…手洗い、うがい、マスクの着用、手指消毒を徹底。

**「3密」の回避**…換気、ソーシャルディスタンスの確保、密になりやすい箇所における事前対策の徹底

## 1 感染源を断つ

- すべての関係者について、来会2週間前からの体調記録を徹底、ID交付時に検温とともに確認する。
- リンク中地・更衣室・談話室・コーチエリア等、密集しやすい場所は掲示、声掛け等により分散を図る。
- 受付及び健康チェックカウンターでは、マスク、フェイスガード及びビニールカーテン等を使用し、感染予防を徹底する。

## 2 感染防止の3つの基本

### 身体的距離の確保

- 開会式、表彰式及び閉会式は簡素化し、地元中学生の運営協力は見送る。
- 表彰の際は、入賞者が賞状やメダルを自分でお盆から取り、握手等は控える。
- 代表者会議は実施しない。
- リンク中地の選手ベンチは一人1脚使用し、競技終了後は速やかにリンクから上がる。

### マスクの着用

- 会場内は競技中以外のマスク着用を原則義務付け、咳エチケットの徹底及びソーシャルディスタンスの確保を呼び掛ける。

### 手洗い等の徹底

- 施設内のトイレ、給湯室等手洗い場で既に設置済みの石けん・アルコール等を使用し、こまめに手洗いを行うよう周知する。
- 各自ハンカチ・マイタオルを持参するよう周知し、ペーパータオルは設置しない。

## 3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

### 会場使用

- 選手1名あたり保護者2名まで入場・観覧を認める。
- 学校観戦は、密にならない座席の配置、選手と接触しない導線の確保に配慮する。
- 保護者および学校観戦を除く一般観戦者の入場は、認めない。
- 観客席を控室と位置付け、各県選手団・学校観戦・保護者席にエリア分けし、座席は1つおきに着席禁止の表示をする。

### 更衣室

- 各更衣室は扉を開放、室内にパーテーションを置いて目隠しとする。
- 更衣室はレース該当者の着替えのみ行き、室内の滞在時間は最小限とする。
- コロナ対策チームが館内を巡回し、要注意個所の消毒、感染防止に関する注意喚起を行う。

### 会場内での密の回避

- 1/29有料練習の時間帯を8ブロックに分割し、各都道府県に割り当てることにより、受付時及び有料練習リンク内の混雑を緩和する。
- 早朝の公式練習は当日出場種目がない選手のみ参加可能とし、練習終了後は宿舎に戻る。
- ミックスゾーンは選手及び報道の双方が密にならないよう取材エリアを可能な限り広げる。

### 換気

- 一日数度、2階コンコース、南側（3カ所）、北側（3カ所）の扉を開放し、観客席の換気を行う。
- 館内諸室及び更衣室通路等にサーキュレーター等を配置する。
- 運営諸室についても開放可能な扉は開放することとし、可能な限り換気に努める。

## 4 安全な活動環境等の確保

- 長野県、長野市及び市保健所等の行政機関、また協力医療機関等と連携し、緊急時の連絡体制を確立する。
- 原則としてごみは持ち帰ることとし、更衣室、談話室、リンク中地、観客席にはごみ箱を設置しない。

## 5 競技運営上の配慮

- 滑走時以外のマスク着用を徹底し、集団でウォームアップ、陸上トレーニングを行わない。
- コーチエリアは1レース当たり4名、待機席8名を入場限度とし、コーチ同士の距離を取る。
- 報道関係者は最小限の人数で取材を行う。特にミックスゾーンでは選手と取材者、および取材者同士が適切な距離を取るよう注意する。

